

1945.8.6 8:15
1945.8.9 11:02

被爆70年



核兵器のない世界のため



被爆者と市民のつどい

2015年8月5日(水) 13:30-16:30
広島・文化交流会館(旧厚生年金会館) 銀河

- オープニング
平和の願いを世界に
広島ジュニアマリンバアンサンブル
- 原爆被爆者の証言 70年を生き抜いて
広島被爆者、長崎被爆者
- 報告と提起
被爆70年の時を刻んで
被爆者の死と生のたたかい
- 外国代表の連帯の挨拶
- 被爆の実相普及へ
新しい担い手たちの決意
高校生代表、青年たち代表、生協の仲間たち他
- 会場からの発言
- 平和のうた
- 集会宣言「被爆70年宣言」



司会 斉藤とも子(俳優)



報告と提起
日本原水爆被害者団体協議会
事務局長 田中熙巳

参加費 無料

主催 日本原水爆被害者団体協議会

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目3-5
ゲイブルビル9階
TEL03-3438-1897 FAX03-3431-2113

今年是被爆70年。広島、長崎の原爆被爆者の平均年齢は80歳を超えました。「生きているうちに核兵器廃絶を」という願いは切実です。被爆者はこの70年、国内と世界の人々に懸命に訴えてきました。そしていま、この願いを若い人びとに受け継いでもらいたいと願っています。「核兵器のない世界のため 被爆者と市民のつどい」に、ぜひご参加ください。

プログラム

★ オープニング
平和の願いを世界に
演奏：広島ジュニアマリンバ
アンサンブル

★ 被爆者の証言
広島
の被爆者
長崎
の被爆者

★ 報告と提起
「被爆70年の時を刻んで
被爆者の死と生のたたかい」
日本原水爆被害者団体協議会事務局長
田中熙巳(たなか てるみ)
中学1年の時、長崎で原爆被爆。
5人の身内を一挙に奪われ、伯母を野原で荼毘に付す。
1960年～1996年東北大学工学部で研究・教育にあたる。
1974年から被爆者運動にかかわり、日本被団協の役員を
歴任。2000年から現職。



★ 新しい担い手たちの決意
高校生代表
広島大学生協
日本青年団
若手弁護士

★ 平和のうた
財満光子



1930年4月1日広島市生まれの呉育ち。14歳で「うちはオペラ歌手になる」と決意。15歳で原爆を体験。34歳で東芝レコードから「島竜子」としてデビュー。交通事故で声を失い、その後、メキシコ公演ツアー中に病に倒れ現地で手術を受けるなど、何度も生死の境をさまようという経験をする。ニューヨーク、パリ、そしてラテンの本場メキシコ国営放送で「東洋の神秘」と一世を風靡しメキシコ政府、音楽家協会などから数々の表彰を受ける。

広島のうたごえ
広島合唱団

後援

広島市 長崎市

協賛

団体

日本生活協同組合連合会	全日本民主医療機関連合会
日本青年団協議会	日本反核法律家協会
全国地域婦人団体連絡協議会	日本母親大会連絡会
原水爆禁止日本国民会議	旬報法律事務所
原水爆禁止日本協議会	東京南部法律事務所
日本宗教者平和協議会	城北法律事務所
全国空襲被害者連絡協議会	全国生協労働組合連合会
ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会	日本平和委員会
全国商工団体連合会	佐々木総合法律事務所

個人

浦田賢治	(早稲田大学名誉教授)
小山内美江子	(劇作家)
片平洸彦	(薬学者)
上条恒彦	(俳優・歌手)
齋藤 紀	(医師)
杉山茂雅	(弁護士)
鈴木瑞穂	(俳優)
高崎 暢	(弁護士)
田沼祥子	(元編集者)
西崎文子	(東京大学大学院教授)
舟橋喜恵	(広島大学名誉教授)
増田善信	(気象学者)
山田洋次	(映画監督)
横山 巖	(弁護士)
吉永小百合	(俳優)
綿引勝彦	(俳優)

(五十音順)

アクセス

広島駅南口より

- ・広島バス 24番「吉島行き(吉島病院)」25分「加古町下車」すぐ
- ・広島電鉄 1番線「広島港(宇品)」行き「市役所」下車徒歩12分
- ・タクシー 20分(約1,200円)

広島駅北口(新幹線)より

- ・タクシー 25分(約1,500円)

広島空港より

- ・広島空港一番ホーム リムジンバス「バスセンター行」 終点より徒歩20分
- ・レンタカー 山陽自動車道「本郷IC」から「広島IC」 所要時間70分
駐車料金 20分100円(駐車30分まで無料)